

感震ブレーカーについて

1. 感震ブレーカーとは

電気による出火を防ぐためには、避難時にブレーカーを遮断することなどが効果的ですが、大地震時にそのような行動がとれるとは限りません。

感震ブレーカーは設定値以上の震度の地震発生時に自動的に電気の供給を遮断するものであり、各家庭に設置することで出火を防止し、他の住宅等への延焼を防ぐことで、被害を大きく軽減することができます。



2. 種類

・分電盤タイプ（1万5千円～10万円程度）

家庭の分電盤に、一定の震度を感知して電気を遮断する機能が付いたもので、基本的には全ての電気が遮断されます。電気を使用する医療器具等がある家庭などでは、設置について注意が必要です。



・コンセントタイプ（1,500円～5,000円程度）

家庭のコンセントに差し込むタイプと、既存のコンセントと取り替えて埋め込むタイプ（要工事）などがあります。基本的には個別のコンセントの電気を遮断するため、電気ストーブや鑑賞魚用ヒータなどの電熱器具を接続する箇所への設置が適しています。



・その他（簡易タイプ等）（1,500円～5,000円程度）

家庭の分電盤に貼り付け、一定の震度によりおもり玉が落下することでブレーカーを遮断するものなどがあります。比較的安価なものが多く、工事が不要です。

